

平成26年度中間決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成26年度(第10期)中間決算についてお知らせします。

1.決 算 概 要

2.決 算 資 料

[個別決算]


- ・ 中 間 貸 借 対 照 表
- ・ 中 間 損 益 計 算 書
- ・ 中間株主資本等変動計算書
- ・ 個 別 注 記 表

[連結決算]

- ・ 中間連結貸借対照表
- ・ 中間連結損益計算書
- ・ 中間連結株主資本等変動計算書
- ・ 連 結 注 記 表

※当社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したものではなく、
情報開示等の目的で任意に作成したものです。

平成26年12月19日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成26年度中間決算概要

(平成26年4月1日～平成26年9月30日まで)

- 平成26年度事業概要
- 平成26年度経営及び財政状況(連結・個別)
- 平成26年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

〔 お客様に**[安全]** **[安心]** **[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。 〕

- ❑ 当中間期の通行台数は前年同期比1.5%増の2,085万台となった一方、料金収入は前年同期比5.3%減の317億円となりました。
- ❑ これに伴い、道路資産賃借料は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への支払額が前年同期と比べ14億円減の220億円となりました。
- ❑ より安全・安心・快適にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、アセットマネジメントの考え方により、舗装補修、長大橋塗替塗装、耐震補強などの構造物修繕工事を計画的かつ効率的に実施しています。

舗装補修(西瀬戸自動車道)



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



耐震補強(撫養高架橋)



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PAにおいて各種イベントを実施するとともに、施設の整備・充実、混雑対策等を実施しました。
 - 淡路SA(下り)休憩施設のリニューアル
 - SA・PAに仮設トイレの設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)
- 地方公共団体から高速道路上における跨道橋点検業務を受託しました。
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA((独)国際協力機構)、地方公共団体等から長大橋技術支援業務等を受託しました。

淡路SA(下り)リニューアル後の店内及び外観



跨道橋(淡路市管理)点検業務



経営状況の総括

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

連結中間決算における経常利益は22億円、特別損失・法人税等を加減した結果、中間純利益は14億円となりました。

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	343	357	△13	△3.7	336	349	△13	△3.7
営業費用	323	336	△13	△4.0	316	330	△13	△4.0
営業利益	20	20	△0.06	△0.3	19	19	0.2	1.5
経常利益	22	22	0.06	0.3	20	19	0.3	1.6
中間純利益	14	13	1	8.1	13	11	1	11.5

[連結対象子会社]

会 社 名	主 な 事 業
JBハイウェイサービス(株)	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕、道路修繕
JBツールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(317億円)、道路資産完成高(13億円)等の営業収益331億円に対し、道路資産賃借料(220億円)、道路資産完成原価(13億円)及び管理費用(79億円)の営業費用が313億円となり、営業利益は17億円となりました。

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	331	345	△14	△4.0	331	345	△14	△4.0
料金収入	317	335	△17	△5.3	317	335	△17	△5.3
道路資産完成高	13	9	3	39.2	13	9	3	39.2
その他の売上高	0.6	0.5	0.02	4.0	0.6	0.5	0.1	22.3
営業費用	313	328	△14	△4.3	312	326	△14	△4.3
道路資産賃借料	220	235	△14	△6.1	220	235	△14	△6.1
道路資産完成原価	13	9	3	39.2	13	9	3	39.2
管理費用	79	83	△3	△4.2	78	81	△3	△3.9
営業利益	17	17	0.2	1.5	19	19	0.09	0.4

関連事業の損益状況

- 休憩所等事業収入(8億円)、受託事業等収入(3億円)等の営業収益12億円に対し、休憩所等事業費用(5億円)及び受託事業等費用(4億円)の営業費用が9億円となり、営業利益は2億円となりました。

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)	平成26年度	平成25年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	12	11	0.5	4.7	4	3	0.8	21.6
休憩所等事業	8	8	0.5	7.0	2	1	0.3	17.9
受託事業等	3	3	△0.01	△0.5	2	2	0.5	24.4
営業費用	9	8	0.8	10.3	4	4	0.6	15.7
休憩所等事業	5	4	0.6	13.1	1	1	0.1	9.2
受託事業等	4	3	0.2	6.8	3	2	0.4	19.4
営業利益	2	3	△0.3	△10.1	0.08	△0.1	0.2	—
休憩所等事業	3	3	△0.05	△1.6	0.4	0.2	0.1	67.2
受託事業等	△0.4	△0.1	△0.2	—	△0.3	△0.3	0.03	—

財政状況(貸借対照表)

(平成26年9月30日現在)

- 資産の総額475億円に対し、負債の総額は322億円となり、純資産の総額は、前年度末から18億円増加した153億円となりました。
- 固定資産…前年度に引き続き、ETC設備及び料金収受機械設備(1.8億円)を更新しました。

単位: 億円

区 分	連結中間決算			個別中間決算		
	平成26年度 (中間期末)	平成25年度 (期末)	増(△)減	平成26年度 (中間期末)	平成25年度 (期末)	増(△)減
資 産	475	565	△89	406	502	△95
流動資産	259	349	△89	234	328	△93
固定資産	216	216	0.2	171	173	△1
負 債	322	430	△108	255	366	△110
流動負債	86	174	△87	75	167	△92
固定負債	235	255	△20	180	198	△17
純資産	153	135	18	151	135	15
株主資本	179	162	16	151	135	15
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	99	82	16	71	55	15
その他の包括利益累計額	△25	△27	1	—	—	—
(負債・純資産合計)	475	565	△89	406	502	△95

平成26年度業績見通しについて

平成26年度業績見通しは、連結で4億円、個別で2億円の利益を見込んでおります。

単位:億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成26年度 (業績見通し)	平成25年度 (決 算)	増(△)減	平成26年度 (業績見通し)	平成25年度 (決 算)	増(△)減
営業収益	767	788	△22	748	770	△23
高速道路事業	728	741	△13	728	740	△13
関連事業(うち休憩所等事業)	39(16)	47(14)	△9(1)	20(4)	29(3)	△10(0.5)
営業費用	763	779	△16	748	766	△18
高速道路事業	728	738	△11	728	738	△10
関連事業(うち休憩所等事業)	35(13)	40(9)	△6(4)	20(4)	28(2)	△8(2)
営業利益	4	9	△5	0	4	△4
高速道路事業	0	2	△2	0	2	△3
関連事業(うち休憩所等事業)	4(3)	6(5)	△3(△3)	0(△0.5)	1(0.9)	△1(△1)
経常利益	7	12	△5	2	6	△5
当期純利益	4	8	△4	2	4	△3

※平成26年度業績見通しについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。